

研究構想図

学校教育目標

ふるさとを愛し、未来を拓くたくましい「本地っ子」の育成
～本気で、地道に～

研究主題

自ら考え、お互いの考えを高め合う授業の創造
～算数科を中心とした予習学習と伝え合う活動の充実を通して～

仮説1

課題把握や自力解決を児童一人一人が予習で行った上で授業に臨めば、児童は自ら考えることができるだろう。

仮説2

様々な場面で伝え合う活動の充実を図れば、児童はお互いの考えを高め合うことができるだろう。

めざす子供の姿へのアプローチ

前時の後半に課題を提示し、自力解決を予習でしてくる授業展開

学習課題について、自分なりの考えをもった上で自分の考えを説明する場の設定

児童によるルーブリック評価

効果的な自主学習や予習の仕方の指導
ノート指導

感想を書いたり話したりする場の設定
〈学校行事・読書・朝会・学年参観など〉

教職員の授業力アップ研修

スピーチタイムの取組(木曜 7 校時)

【研究の方法】

- ☆模擬授業
- ☆授業研究
- ☆理論研修

〈検証方法〉

- ☆単元末テスト・CRT
- ☆児童アンケート
- ☆目標とする児童の姿に達成した児童数

家庭学習の意義理解と
内容の充実

自分の思いが安心して表現でき、
お互いの思いが出し合える
学習集団